

第 44 回東北理学療法学術大会 学会賞受賞者のコメント

< 本文 >

最優秀賞

「脳血管疾患患者における退院後の雪上歩行自立に関連する因子の検討」

青森県立保健大学理学療法学科 工藤 健太郎 氏



このような賞をいただき大変嬉しく思います。

本研究では、脳血管疾患患者における退院後の雪上歩行（実施）状況について調査しました。雪国特有の臨床課題について、今後も東北のリハビリテーションの発展に貢献できるよう努力してまいります。

ご指導・ご助言を賜った齋藤圭介先生、千葉直先生に心より感謝申し上げます。

優秀賞

「Berg Balance Scale14 項目に基づく脳卒中後バランス障害の潜在構造と関連領域の探索」

福島県立医科大学 阿部 浩明 氏



このたび、第 44 回東北理学療法学術大会において優秀賞を賜り、大変光栄に存じます。

本研究を進めるにあたり、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。

今回の受賞を励みに、今後も臨床における課題の解決と理学療法の発展に貢献できるよう、研究活動に一層精進してまいります。

優秀賞

「脳卒中生活期に緩やかに移動能力が改善し続けた 1 症例 訪問理学療法と在宅介護背景に着目して」

篠田総合病院 鈴木 麻梨子 氏



このたびは、このような賞をいただき、身に余る光栄に存じます。大会長の黒田先生はじめ関係スタッフの皆様にご心より感謝申し上げます。また、今回の報告は日々の臨床業務の延長であり、日頃からご指導ご助言くださる先輩方、同僚の皆様に感謝申し上げます。

今回の症例報告は訪問理学療法を行う中で脳卒中後に緩やかに長期的に回復された利用者様について発表させていただきました。このような稀な経験を共有するとともに、発表の場でたくさんの先生方に自分では気づくことができなかった視点や新たな示唆を頂きました。こうした意見交換は、自分の経験を改めて捉え直す貴重な学びとなりました。今回の発表を通して得た学びを大切に、これからも自己研鑽を重ね臨床業務に繋げたいと思います。ありがとうございました。

新人賞

「シャルコー・マリー・トゥース病に対し、HAL®医療用下肢タイプによる歩行練習を長期的に継続した症例
～5 年間の筋力と歩行能力の推移～」

山形大学医学部附属病院 リハビリテーション部 川口 昂希 氏



第 44 回東北理学療法学術大会にて新人賞を受賞できましたこと、大変光栄に思います。

本演題では、シャルコー・マリー・トゥース病を呈した症例に対し、HAL®医療用下肢タイプを用いた長期的な歩行練習を行い、筋力と歩行能力の推移について検討いたしました。

日頃より熱心にご指導くださる先生方をはじめ、温かく支えてくださるリハビリテーション部の皆様にご心より感謝申し上げます。

今回の受賞を励みに現状に満足することなく、臨床技術の向上を目指してまいります。
今後ともご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

新人賞

「地域在住高齢者における方向転換動作を指標とした軽度認知機能障害のスクリーニング
スマートフォンアプリ Hacaro iTUG による評価」
いわき市医療センター 石田 巧英 氏



この度は、第 44 回東北理学療法学術大会において新人賞という大変栄誉ある賞をいただき、誠にありがとうございます。

今回の受賞は、共同演者としてご協力いただいた先生方、日頃から温かくご指導いただいている病院の先輩方など、多くの方々の支えがあって得られたものだと感じております。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。

また、本大会の開催・運営にご尽力いただいた東北ブロック協議会ならびに大会関係者の皆様にも、心より御礼申し上げます。

今回の受賞を励みに、今後も臨床・研究の両面において研鑽を重ね、少しでも理学療法の発展に貢献できるよう努めてまいります。

この度は誠にありがとうございました。